

令和3年度 第1回穴水町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和3年8月6日(金)
開会 13時30分 閉会 14時32分
- 2 場 所 穴水町役場庁舎横 地域情報センター 2階 研修室
- 3 出席者 穴水町長 石川 宣雄
穴水町教育長 布施 東雄
穴水町教育委員会
教育委員(教育長職務代理者) 大家 志夫
教育委員 宮下 静子
教育委員 不二井 悟史
教育委員 北川 えい子
- (事務局関係)
総務課長 北川 人嗣
教育委員会事務局長 樋爪 友一
教育委員会事務局参事 馬渡 竹志

- 4 討議事項 (1) 教育の現状について
(2) 小中学校教育環境の整備について
(3) その他

5 会議の経過及び発言

○開会

樋爪 事務局長 ただいまより、令和3年度穴水町総合教育会議を開会させていただきます。それでは、会議にあたりまして、石川町長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

石川 町 長 本日は、穴水町の総合教育会議ということで委員の皆様にご案内を申し上げさせていただきました。委員の皆様方には、ご多用のところ、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。ご案内のとおり、将来の穴水町の小中学校について、どうあるべきかということ、町立学校施設整備基本構想計画検討委員会を立ち上げて議論いただきました。4月に、その答申をいただいたところでございますので、その検討委員会の意見も尊重、また参考にしながらお話をさせていただきたいと思っております。どなた

が見ても、将来の児童数から判断しますと、将来は穴水小中学校にすべきではないかというように私は思っています。早々に小学校が統合しなければならないというのは、誰が見ても明らかであります。小規模校は小規模校なりの利点もあります。しかし教育の基本は、子ども達が将来、社会に出ても十分やっつけられるための基礎教育の場であると私は考えています。したがって学業成績だけが良ければいいというわけではなく、やはり義務教育の期間内で社会性を身につけて送り出してやることも、我々の役目ではなかろうかと考えております。そういう観点からしますと、やはり将来は小中学校ということにすべきだろうと、今は判断をいたしておりますが、委員の皆様とまだまだ意見を交わしながら進めてまいりたいと思っております。本日は、皆様方のご忌憚のないご意見を拝聴してまいりたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

樋爪 事務局長 ありがとうございます。続きまして「穴水町の教育の現状について」布施教育長よりお話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

布 施 教 育 長 (穴水町の教育の現状について説明)

樋爪 事務局長 ありがとうございます。それでは、これより本日の協議事項であります「小中学校教育環境の整備について」を協議させていただきます。まず私の方から、お手元に配付してあります資料について説明をさせていただきます。

(資料説明) 町立学校施設整備基本構想計画の方向性について(答申)

児童数の推移並びに学級編制について

石川町長、方向性についてご説明いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

石 川 町 長 先ほども申し上げましたとおり、児童数の推移からしましても、近い将来小中一貫校にしなければならないのではないかと考えています。後は敷地の問題、財政上の問題等になるのかと思いますが、最初は小学校を統合して後から中学校ということにするのか、或いは中学校の建築年数を考えて5年後に一気に小中学校にするということですが、最初に小学校だけ統合して後から中学校ということになっても補助金はどのようになるのですか。

樋爪 事務局長 中学校が35年経過しています。県の考え方は、学校を新しく建て替えるとなれば、建築法では40年を経過していなければという条件があります。そのあたりがクリアできれば国の補助金の対象になるかと思えます。5年後位ですね。

石 川 町 長 小学校だけ先に統合してその横に中学校を建設するのも対象になるのですか。

樋爪 事務局長 小学校は統合なので国の対象となります。中学校ですが、国の考え方は、小学校と中学校を同時に新しくするという事になった場合、それぞれ、小学校は小学校の補助、中学校は中学校の補助という考え方です。40年を経過していなければというのに、40年経過していないまだ使える学校を建て替えるのには理由づけが必要になります。できれば、5年後は穴水中学校も40年を経過しますので、その時期に小学校と中学校を一

気に建て替えるとするれば、どちらとも国の補助金が当てはまるということです。小学校を先行しても、準備やいろいろな手続き等の期間に3～4年間位はかかると思います。

石川町長 中学校の補助金が出るまで待つという方法も無くはないが、小学校がそれまで待っているのかどうかですね。小学校だけ先に建築してしまい後から中学という方法はないのですか。

樋爪事務局長 それは可能です。小学校が先に開校して、その後2～3年後に中学校の部分を建て替えるという流れかと思います。

石川町長 中学校も建て替えを実施するという形で進めていけば良いのではないですか。

樋爪事務局長 基本的な計画づくりをしなければならないと思っています。5年10年の期間があるかと思いますが、その中で小学校と中学校の建設の考え方に棲み分けして、当然財源もありますので、そこはきちんと整理していかなければならないかと思っています。

石川町長 補助金だけでは全ては賄えないだろうから、実質の割合はどれだけですか。

樋爪事務局長 2分の1と言いますが。

石川町長 調査をするにしても、何を基準に限度額があるのですか。

北川総務課長 特に限度額というのはなく、借りの起債によりますし、建て方にもよります。

石川町長 全部の合計額の限度額は。

北川総務課長 特にありません。

石川町長 実質、建設費用の40%を補助金で賄えるとしたならば、残りは町で賄えるのかどうかということですね。小学校を先行させる場合でも時間が必要です。

樋爪事務局長 来年度に基本設計、実施設計を行っていきたいです。七尾市に伺ったのですが、七尾市も基本設計、実施設計に1年かかっています。本体工事で1年半から2年かかります。コンサルタント会社も概ねそのような回答でした。

石川町長 3年あればできるということですね。3年でできるのなら、先行して3年でやるのか、更にそこからもう2年待つて中学校もやった方がいいのか、財源の問題なのでしょうけれど。皆さん、ご意見はございませんか。

大家教育委員 私は、統合は絶対必要だという意見です。私は、統合の学校に何度か勤務したことがあるのですが、児童数が少ないというのは一番のネックで、子ども達がたいへん可哀想なのです。「学びの保障」と言いますか、世界に通用する人間に育てる時は、いろいろな

人との出会いとか環境の中で教育を受けさせなければならないかと思います。特に現代は世界に役立つ人間ということでGIGAスクール等いろいろな教育が多様化されていますので、小さい学校では目は行き届くけれど、やはり世間に出た時の人間性とか社会性とかを培うには、大勢の子ども達の中で学ばせたいというのがひとつです。今、問題になっている小学校、中学校をどうするかということですが、私は、個人的な考え方ですが、一緒に建築してスタートした方が良いのかとは思いますが、そこで、小中一貫型小中学校が基本かと思っています。単なる統合して終わりではなくて、将来的には中学校と一緒にあって教育を進めていく、また穴水高等学校と一緒にあって進めていくということで、そのようなスタートが切れれば良いかと思いますが、予算面等いろいろな工事面で小学校を先にスタートさせたいというのであれば、それもかまわないかという気もします。ただ、小学校と中学校は一つの土地の中で教育を受けさせた方が何かと都合は良いかと思っています。

石川町長 他にご意見はありませんか。
もうひとつ進める上で大切なことは、町立学校施設整備基本構想計画検討委員会の委員に地域の代表が入っていないですね。決定してからが良いのか、その前が良いのか、それぞれの地域に説明会をして意見を伺わなければなりません。

樋爪事務局長 方向性をお示しいただいた上で、地域の方への説明、保護者の方への説明ができるかと思っています。計画の中には入れていきたいと思っています。

石川町長 ある程度のしっかりとした方針が決まった上で説明に伺った方が説明し易いのではないだろうか。方向性をしっかりとして我々の考え方を理解してもらわないとならないので、ある程度の方向性を決めて説明に伺った方が良いです。

宮下教育委員 保護者がいないとおっしゃいましたが、町PTA連合会会長と副会長が入っています。しかし委員会の時にはお二人からそういう意見はあまりお伺いできなかったのですが、将来できるであろう学校というのが当然予想しにくのであろうでしょうから、意見も出なかったのだと思います。ただ、一つ二つ記憶に残っているところでは、遠方の子どもには必ず通学バス(スクールバス)を確保してほしいということが出ていました。それについては、保護者としては路線バスでは心配だという思いがあるのでしょうか、私も良くわかります。1時間ほどかかる所を路線バスに乗せていくというのは、非常に心配な面があると思います。そのような点もフォローしてあげてほしいと思います。

石川町長 保護者や地域の方にとっても、それは十分に理解した上で万全の体制でしていかなければなりませんので、スクールバスという方向性が良いかと思っています。1人2人ならばタクシー会社と契約しても良いのではないのでしょうか。

大家教育委員 新しい学校を作るということで、小学校の統合、または小中一貫教育のどちらになるかはわかりませんが、学校名とか、校章とか、校歌とか、新しいものを作らなければならないのでしょうか。

石川町長 もう少ししたらそういう問題も出てくるでしょう。

大家教育委員 私が輪島市で校長をしていた時にちょうど閉校でして、統合の座長をしていました。その時に上野台地区、松陵地区、三井地区の子ども達が来た時に、いろいろな反対意見もあったのですが、先に市としての方針をお話して、校歌、校章、制服等、3つの委員会に分かれていて、保護者の方と先生方と入って、いろいろ進めていったのですが、やはり1年ぐらいかかりました。そういう段取りをするまでに結構時間がかかったのです。5～6年ぐらいかかったかと思しますので、そういう点もきちんと相談した上で保護者の方や地域の方に説明したり入っていただければいけないのかと思います。吸収合併ではないのですよね。統合、新しい学校を作るということですよね。

樋爪事務局長 そうです。

大家教育委員 学校によっては閉校式をすとか、閉校記念誌を作るとか、保護者の人達もそういう問題が出てくるだろうから、早め早めにお知らせしていかなければならないのかと思います。

石川町長 自分が卒業した学校が次々に無くなるというのは寂しいことだろうけれどね。私は毎年、東京穴水会へ行くのですが、そこへ行くと、地域毎に校歌を歌います。小中学校の思い出は忘れないのでしょうかね。

大家教育委員 高等学校の校歌は歌えなくても、小学校、中学校の校歌は歌えますね。

石川町長 童心に返って嬉しいものです。早く、できるだけ子ども達に良いものを作ってあげたいと思っています。贅沢な物はできなくても、できるだけしてあげたいです。

不二井教育委員 統合の時期にきていると思います。建築物ですので、先進的な建物を建てなければなりません。建物として魅力ある学校を目指さないと、そこはきちんと議論していかないと、後から失敗やったなという訳にはいかないのです。建物についてはきちんと精査し、こういう学校が良いなということを検討して取り組んだ方が良いでしょう。

石川町長 その時期がきたら、設計事務所にいろいろな提案をしていただきます。

(途中省略)

北川教育委員 小学校と中学校を併設して一つの学校にするか、それとも別々にするかも違ってきます。

樋爪事務局長 将来的な小中一貫教育の小中学校ということになれば、建物は別々では授業も含めて不都合も出てくるでしょうから、やはり同じ建物と言いますか繋がっていることによって、子ども同士の交流もできますし先生方もお互い行き来ができるという利点があるのかと思います。

- 北川教育委員 新型コロナウイルス感染症の感染予防で視察に行けなかったもので、そういうところの話し合いがまだ足りないように思います。いろいろ予算のこともありますが、新しい学校ができたらいいなとは思ってはいます。
- 樋爪事務局長 委員会の時も、伊藤委員から珠洲の方の小中学校の事例もありましたので、いろいろなパターンの学校がありますので、そのようなことも事務局の方もきちんと勉強をした上で、その形といいますか、慎重にやりたいと思います。
- 北川総務課長 義務教育学校や小中一貫型小中学校というイメージですが、たとえば教職員の先生方の小学校、中学校の指導等はどのようになりますか。
- 布施教育長 施設は、一体型、隣接型、分離型がありますが、小中それぞれのエリアがあり、組織運営も種別によって少し異なります。先生方は、所属する学校の免許状を保有していることが配属の条件です。
- 北川総務課長 小中一貫型小中学校では、学校長は1人ですか。
- 大家教育委員 2人です。
- 布施教育長 小学校は小学校の、中学校は中学校の学校長です。
- 大家教育委員 義務教育学校の学校長は1人です。珠洲市がそうですね。義務教育学校は、9年間で教育課程を編成することができます。前期課程6年と後期課程3年で9年間でひとくくりの教育をします。小中一貫型小中学校は、併設型と連携型がありますが、建物が併設をしていれば先生方の行き来もできるし、児童生徒の学校行事等でも行き来ができるし、たとえば校内研修等いろいろな研修でもお互いに交流できるので非常にやりやすいというメリットがあります。
- 北川総務課長 多分、そのイメージや、またどういうものなのかということが、町民の方はわからないと思います。メリット、デメリットを説明していかなければなりません。
- 大家教育委員 いろいろな学校を視察したり、その学校の学校長からメリット、デメリットや問題点等を伺ったりしながら、穴水町の保護者の方にも説明していかなければならないのかと思います。
- 北川総務課長 建物のことをいうと、現在も、小学校も中学校も体育館が2つありますね。管理面からいくとたいへん経費はかかりますが、児童生徒達はたいへん便利です。小学校はB&Gという別の組織として建てたということですし、勤労者体育館もそうやって建てたのです。経費はかかるが部活動がしやすいとか、そうすると部活動の能力も上がるとかそういうものもありますが、コンパクトにしすぎると少し難しい面もあります。そういったメリット、デメリットもありますね。そういうことをしっかりと考えてやればいいのかと思

います。

大家教育委員 珠洲市の義務教育学校は、卒業式は1回だけです。小中一貫型小中学校なら小学校の卒業式、中学校の卒業式と2回します。学校行事もそれぞれです。お互いに交流しながら皆で子ども達を育てる、小学校の先生も中学生を、中学校の先生も小学生を、お互いに育てていくという視点では、小中一貫型小中学校という小中併設でいけば教育活動は充実していくのかと思います。プラス高等学校との連携ということになれば良いのではないかと思います。やはり離れていると、現在の穴水小学校の場所で小学校を建てるとなれば、少し中学校との行き来がしにくく、せっかく小中一貫型小中学校ですのならば、併設していた方がより効果が大きいのかと思います。

北川総務課長 義務教育学校というのは、結構あるのですか。

大家教育委員 県内では、珠洲市の大谷小中学校、宝立小中学校、本年度から小松市の松東みどり学園ですかね。

北川総務課長 だから前期、後期というのですね。

大家教育委員 そうです。前期教頭、後期教頭と言います。

布施教育長 学年段階の区切りを6年一3年以外の柔軟な学年段階の区切りを設定でき、中学校の授業を2年ほどで終わらせて最後は進学に力を入れる等、特色あるカリキュラムを作ることができます。また中1ギャップや特別支援教育にもたいへん有効的です。

大家教育委員 せっかく穴水町に新しい学校を建設するのだから、魅力ある学校といいますか、子ども達が穴水町のこの学校へ来て良かった、通って良かったと、保護者の人も穴水町の学校に通わせて良かった、新しい学校になって子ども達が生き生きとしていると、そういう教育課程、施設を作っていければ良いのかなと思います。先生方も、穴水小中学校に勤めたいというそういう学校になれば良いなと思います。

石川町長 子どもの数から考えれば、小学校も中学校も1校で良いのですね。では、グラウンドは1つでいいのですか。

大家教育委員 週に3時間の体育の授業があります。雨が降れば体育館が2つあれば非常に回しやすいです。穴水小学校も今はB&Gの体育館があるので余裕をもって教育課程を組めるので便利です。統合しても2クラスというのは少なくなってくるので、そんなに特別教室の運用というのは難しくないかと思います。ただ2つあれば何かと便利かとは思いますが。勤労者体育館というのは、そのまま残っていくのですか。

北川総務課長 勤労者体育館も別の補助金をいただいて建設した建物です。あれば2つあって便利ですよ。それも検討課題です。体育館はそれほど老朽化しないです。配管くらいですから建て方によっては残せるかもしれません。学校はどうしても配管等が老朽化しやすいで

す。体育館は意外と長寿命化を図り易いです。

樋爪 事務局長 他にご意見はございませんでしょうか。

石川 町長 場所はどこにということはありません。良い場所があれば、そこへ行けば良いのです。

樋爪 事務局長 それでは、方向性としましては、町長がおっしゃったとおり穴水小学校と向洋小学校は統合する。新しい校舎を建設する。併せて中学校の取扱いにつきましては、国の補助金等財源の確保ということもあります。これから基本計画を取りまとめていきたいと思いますが、その中で、学校施設の先行事例もありますので調査研究をしながら、穴水町の学校をイメージし作成をさせていただきたいと思います。その後、地区の説明会、保護者の方への説明会等を行っていききたいと思います。他にございませんでしょうか。

全 員 ありません。

樋爪 事務局長 では、事務局で一旦取りまとめまして、改めて委員の皆様にお知らせしたいと思います。以上をもちまして、第1回穴水町教育総合会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。

以上

○閉会

会議録署名

穴水町長

穴水町教育長

穴水町教育委員（教育長職務代理者）

穴水町教育委員

穴水町教育委員

穴水町教育委員
